

令和5年4月7日



# 学校だより 4月号

横浜市立瀬谷さくら小学校  
校長 場家 誠

学校教育目標 「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

(知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。

(徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子に育てます。

(体) 自分や人の命を大切にする子に育てます。

(公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。

(開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子に育てます。

## 期待・熱中・満足

校長 場家 誠

さくらの花びらが美しく舞い散る中、令和5年度を迎えました。お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。この度、瀬谷さくら小学校の第6代校長として着任しました 場家 誠 と申します。自己紹介を兼ねて、少しでも私事を書かせていただきます。

先日、20数年前に担任した教え子が、手紙を添えて、右下の写真にある自作のキーホルダー（中のイラストは教え子が描いたものです）を送ってきてくれました。そのお礼の手紙の中で、4月から校長になることを伝えたところ、今度はメールが返ってきました。そこには、次のような文面がありました。

「～略～ 担任だった場家先生の笑顔や元気にバスケをする姿、子どもたちと楽しく話をする姿は今でもよく覚えています。校長先生になってからも、先生の元気な笑顔は、学校みんなの元気につながると思います。思い出の校長先生になるのだと思います。ですから、学校の元気印!場家校長先生でいてくださいね(笑)。～略～」

本校の校長に着任するにあたっては、正直なところ、喜びだけでなく、新任ゆえの不安な気持ちもありました。しかし、このメールを読んだら、そんな不安な気持ちは吹き飛び、「よし、子どもたちのためにがんばろう!」という気持ちでいっぱいになりました。「笑顔と元気」が私の持ち味であることを思い出させてくれた教え子に感謝しつつ、本校の子どもたちが、これから毎日

**「期待して登校し、熱中して学び、満足して帰る」**

そんな学校づくりを目指して、職員と共に全力で取り組んでまいります。

令和以降、世界に大きな影響を与えてきた「新型コロナウイルス感染症」については感染症法上の5類に移行することが決まり、学校における感染症対策・対応等も徐々に変わっていきます。これまでも感染拡大を防ぎつつ、よりよい環境づくりのために、保護者や地域の方々にご理解ご協力をいただいていたのですが、引き続き、学校を子どもたちにとって、「安全に」かつ「安心して」過ごせる場所にするために、ご理解ご協力くださいますようお願いいたします。

